



ゲノム医療の社会実装をデータインテリジェンスで推進、医師および患者さんの意思決定を支援します

ゲノム医療のためのトータルソリューションソフトウェア Chrovis (クロビス)

2019年6月にがん遺伝子パネル検査が保険収載されたことに代表されるように、臨床現場でゲノム情報を用いて、予防・診断・予後予測・治療につなげるゲノム医療が拡大しています。Chrovisはゲノムのデータ解析から、情報の検索と整理、意義付け・アノテーション、レポート作成までを自動で行い、医師の指示のもと、医師の業務の効率化を支援します。診断や治療方針の検討など本来の医師の業務に集中できるようサポートします。

サービスのベネフィット

- ゲノム医療の現場のニーズに応じてChrovisを柔軟に最適化し、サービスを提供します。(サービスの一部で、必要に応じて、AWSを利用しています。)
- 医学・生物学の10以上の公共データベースを統合、必要な情報を横断的に検索します。
- 特許技術「パラフレーズ検索」により、専門用語の言い回し検索を網羅的に実現しています。
- 医師向け：判断補助資料、患者向け：説明補助資料、ステークホルダーの指示のもとにレポート生成を支援します。

サービスのターゲットと効果

【ゲノム医療に携わる医療従事者・研究者】

- がん遺伝子パネル検査の結果の解釈、エキスパートパネルに必要な情報検索やガイドラインの参照にかかる時間を減らすことができます。
- がん遺伝子パネル検査の結果を患者さんに説明する際に必要な資料の作成にかかる時間を減らすことができます。

【ゲノム医療に携わる企業】

- 次世代シーケンサを用いた遺伝子パネル検査・全エクソン解析検査・全ゲノム解析検査において、データ解析からアノテーション、レポート作成までを一気通貫で開発できます。

がん遺伝子パネル検査の結果の解釈から資料の作成までにかかる時間、1症例あたり1~2時間を大幅に削減。(がん遺伝子パネル検査の場合、当社調べ)

サービスの利用事例

東京大学医学部附属病院で行われた先進医療Bでの遺伝子パネル検査「Todai OncoPanel (東大オンコパネル)」のデータ解析とアノテーション、レポート作成などで臨床研究に協力しています。

岡山大学病院で行われている先進医療Bでの遺伝子パネル検査「TruSight™ Oncology 500」のアノテーションとレポート作成などで臨床試験に協力しています。

東京大学医学部附属病院、がん研究会有明病院での、がん遺伝子パネル検査のエキスパートパネルにおいて、アノテーションとレポート作成における医師の業務をサポートしています。

AWS 選定のポイント

- クライアントのニーズに応じて、AWSを採用して構築できる点。
- AWS Batchなどを使い、必要な時に必要な計算を効率的に実行できる点。
- 適切に構築することで、最適な形にスケールしつつシステムを柔軟に運用できる点。
- その他、様々な機能が揃っており、必要に応じて柔軟に組み合わせて使える点。
- 医療で求められる高度なセキュリティを保ったシステムを構築できる点。
- Infrastructure as Code (IaC)にて、可視化しつつインフラを適切に管理できる点。

